

様式第 1 号 (第 6 条関係)

令和6年5月10日

(あて先) 小矢部市長

所在地又は住所	小矢部市本町1-1
名称又は氏名	小矢部工業株式会社
代表者の職・氏名	代表取締役 本町太郎
担当者氏名	総務課 小矢部一郎
連絡先	0766-67-1760

小矢部市DX推進補助金交付申請書

小矢部市DX補助金交付要綱第6条の規定により補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて申請します。また、本申請に当たり、担当職員が市税の滞納の有無について税務担当課に確認することに同意します。

記

1 交付申請額 金 100,000 円

2 添付書類

- (1) 事業の概要がわかる書類 (会社概要等) (個人・法人の場合)
- (2) 組織の規約・会則などの写し (任意団体等の組織の場合)
- (3) 補助事業に係る経費の見積書の写し、価格表その他の積算金額の根拠書類
- (4) その他市長が必要と認める書類

事業計画書

1 申請者の概要

項目	内容
申請者（企業名）	小矢部工業株式会社
本社又は主たる所在地	小矢部市本町1-1
資本金額又は出資金額	10,000,000 円
従業員数	40 人
事業内容 （製品名、業種等）	電子デバイス製造業
任意団体等の場合は、構成等	

2 申請事業の内容

補助事業の内容	<ol style="list-style-type: none">研修会伴走支援システム導入 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 5px;">該当する事業に丸をつけてください。 複数の事業を実施する場合は全てに丸をつけてください。</div>
補助事業の目的 <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 5px;">自社の現状や課題、申請に至る背景、事業の目的や内容、事業実施前と実施後の変化などについて記載してください。スペースが不足する場合は適宜変更してください。（複数ページになっても構いません）</div>	基幹業務の多くがデジタル化されているものの、多くの業務に無駄があり、もっと労働生産性の向上を図れるのではないかと感じている。 一方で、自社の人材だけでは限界を感じており、外部専門人材のアドバイスをもらいながら、自社のDXの進捗状況を診断してもらい、課題や改善点を明確にした上でDXを推進し、労働生産性の向上を図りたいと考えている。
事業詳細・事業効果など <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 5px;">事業の詳細や見込まれる効果などについて具体的に記載してください。 ※計画書が概要資料など、事業の詳細が分かる資料がある場合は添付してください。</div>	委託事業者：株式会社〇〇〇〇 業務内容：DX診断 現状把握・課題整理 DX計画策定
事業スケジュール <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 5px;">実施予定事業のスケジュールを記載してください。 ※計画書が概要資料など、事業の詳細が分かる資料がある場合は添付してください。</div>	令和6年8月 業務開始 令和7年2月 業務完了 ※詳細については別紙計画書参照

スペースが不足する場合は適宜変更してください。（複数ページになっても構いません）

対象経費は消費税を抜いた額としてください。
 国や県などから補助金の交付を受ける場合は補助額を差し引いた額としてください。

3 経費明細

補助事業の内容	区分	補助対象経費	備考
研修会			
	小計		円
伴走支援	業務委託料		
	DX診断	100,000 円	
	現状把握・課題整理	100,000 円	
	DX計画策定	150,000 円	
	小計	350,000 円	
システム導入			
	小計		円
合計		350,000 円	

交付申請額： 補助対象経費 × 1 / 2 = **100,000 円**

注1 補助対象経費は、消費税及び地方消費税並びに国、地方公共団体その他公的機関から交付を受けた補助金等に相当する額を除いた額とする。

2 交付申請額は、1,000 円未満の端数を切り捨てた額とし 10 万円を限度とする。

スペースが不足する場合は適宜変更してください。(複数ページになっても構いません)